

セミナー報告

「サイエンス・ガールの実験室」

クレオ
大阪南

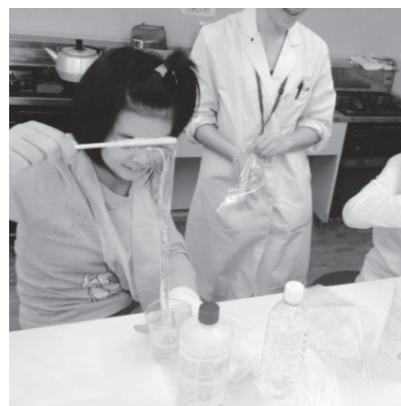
10月19日(日)、クレオ大阪南で小学校5・6年生の女子児童対象に、「サイエンス・ガールの実験室」を実施しました。

実験テーマは、①しゃくとり虫ロボット、②「ブレッドボード」で回路実験、③光るスライム、④お花の指示薬の4種類。参加者は19名の小学生。指導は11名の大阪府立大学工業高等専門学校の女子チームROSEでした。

今回の実験は、工学の3つの異なる領域すべてを2時間で味わってもらおうという欲張りな企画です。ROSEのメンバーの皆さんは、就活やレポート提出、試験の合間を縫い、教材作り、説明用ポスターなど下準備をしてくれました。当日は、小学生ガールズのまっすぐなまなざしに、ROSEのみなさんが輝く笑顔で応える様子がとても素敵でした。実験指導には、専門的な内容を小学生にわかりやすく伝えるための工夫がたくさんされており、素晴らしい実験ができました。

その結果として、参加者アンケートでも「楽しかった」「おもしろかった。また行きたい」との声をいただきました。実験とは、参加者にとっても、指導者にとっても冒険であり、失敗、改善、そして成功体験を重ねながら成長していくのだと実感しました。

クレオ大阪は、女子学生の理系進路への選択をこれからも支援していきます。サイエンス・ガールズ、未来に向かってレッツゴー！



スライムの実験。みんな大はしゃぎ！



しゃくとり虫ロボットの組み立てに挑戦！

大阪府立大学工業高等
専門学校 女子チーム
ROSE リーダー
松下 美桜さん



高専で得た知識を使った高専生らしい実験を、ということで「電気、機械、化学」それぞれ3分野のオリジナルの実験の実現をめざし、動きはじめました。

既存の方法でなく、新しい実験を企画・実施するのは予想以上に困難を極めました。思わぬ危険性、時間の制約、子どもたちへの伝え方。どれも大きな壁であったのは間違いありません。ですが、頼りがいのあるメンバーたちの知見や励ましとその壁を一つ一つ乗り越える力となったのだと確信しています。

一つのイベントを取りまとめたことは私の人生の中で初めての取り組みでしたが、メンバーや先生方、クレオ大阪南のみなさんのフォローなくしての実現は難しかっただろうと思います。私にとって一番の学びは、関わる人々に感謝をすることの大切さです。これから先、社会人となっても大切な教訓として活かしていきたいと考えています。



ROSEのメンバーのみなさん

こちら
男女共同参画情報局

ニュース 男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数ランキング
日本は104位 議員・企業管理職で低い女性比率

国名(前年の順位)	順位
アイスランド(1位)	1位
フィンランド(2位)	2位
ノルウェー(3位)	3位
スウェーデン(4位)	4位
デンマーク(8位)	5位
日本(105位)	104位

資料：世界経済フォーラム
「男女格差報告2014年版」

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」は、世界各国の男女格差(ジェンダー・ギャップ)を指数化し、ランキングで示した2014年版「男女格差報告」を発表しました。日本の順位は調査対象142カ国のうち104位で昨年より1つ順位を上げました。経済協力開発機構(OECD)加盟国34カ国では韓国に低い状況です。

男女格差報告は、各国の開発レベルは考慮せず、男女差がどのくらいあるかということ測定するものです。女性の地位を経済、教育、政治、健康の4分野で分析し数値化しています。経済分野では、女性の労働参加率や管理職が少なく102位、政治分野では、ほかの国の女性国会議員比率が上がったことで、昨年の118位から129位と順位を下げました。

日本では、社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標を設定していますが、分野によっては、女性割合が極めて低い状況が続いており、一層の取組みが求められています。

ニュース 内閣府が男性のための男女共同参画ポータルサイトを開設

「男女共同参画」は男性にとっても生きがいのある社会をめざすうえで重要な課題です。男女共同参画社会を実現するためには、性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しによって、男性にとっても地域や家庭へ参画しやすい環境づくりが求められます。「男性のための男女共同参画ポータルサイト」では、男女共同参画の意義や取り組みについて、男性の立場・視点から理解を深められるよう、さまざまな情報を提供しています。

基礎知識として、①男性・女性にとっての仕事と家庭のあり方、②男性にとっての仕事と家事・育児参画、③生きがいのある社会をめざして、に分けて、詳しく紹介されています。そのほか、働き方の見直しを進め、男性の家事・育児参画を先導するキーパーソン・プロジェクト、コラム、シンポジウム、自治体の取り組み、調査研究で、男性のための男女共同参画についてより深く知ることができます。ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか？

ポータルサイトアドレス：http://www.gender.go.jp/policy/men_danjo/ (内閣府男女共同参画局)

男性の家庭・地域参画

男性の地域参画(※)に必要なこととして、「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図ること」が最も多く挙げられています。

次いで、男性自身の抵抗感をなくすことや、社会での評価を高めること、労働時間短縮や休暇制度を普及することなどが挙げられています。

男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと(複数回答)

